

Japanese-German Program

日独プログラムニュースレター

— 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的
海外派遣プログラム —



第14回日独共同セミナー開催



第14回日独共同セミナー（平成24年10月
1日・2日開催）での文化交流の様子。

日本人学生、ドイツ人学生によるミニピアノ
コンサート；ケミストリーラウンジ（野依記
念物質科学研究館）にて。



餅つき；懇親会場にて。

2013(平成25)年3月発行

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学物質科学国際研究センター事務室

日独プログラム HP <http://irtg.rcms.nagoya-u.ac.jp/>

第13回 日独共同セミナー開催

日 時 2012年5月7日(月)・8日(火)

場 所 ミュンスター大学(ドイツ)

【日本からの参加者】

教 員 山口茂弘、巽和行、菱川明栄、斉藤進、
山田泰之、福嶋貴、吉川浩史

学 生 毛利和弘、飯島祐樹、Foo Siong Wan、
川澄克光、藤本卓也



第14回 日独共同セミナー開催

日 時 2012年10月1日(月)・2日(火)

場 所 名古屋大学 野依記念物質科学研究館

【ドイツからの参加者】

Prof. Gerhard Erker, Prof. Bernhard Wunsch,
Prof. Ernst-Ulrich Würthwein, Prof. Jens
Müller, Prof. Armido Studer, Prof. Frank
Glorius, Prof. Martin Oestreich, Prof.
Ekkehardt Hahn (ゲスト) 以上教員

David Königs, Friederike Sibbel, Friederike
Schröter, Michael Kurlemann, Tobias
Greulich, Nils Schröder, Adrian Schulte,
Raúl Adler, Christian Radunsky

日本側発表者:

深澤愛子、瀬川泰知、横川大輔(以上教員)、
谷山暢啓、三浦隆志、白瀧千夏子(以上学生)



DFG 東京オフィス新代表 Dr. Schneider 来学

日 時 2013年1月21日(月)

来 訪 者 Dr. Jörg Schneider, Dr. Saiki Hase,
Ms. Myra Bauersachs

DFG(ドイツ研究振興協会)日本事務所の新しい代表となった Dr. Jörg Schneider が、名古屋大学にて日独プログラムを活発に展開している物質科学国際研究センターの巽和行教授、山口茂弘教授を訪問されました。懇談には、現在名古屋大学に滞在中のドイツ人学生5名や今後ドイツに派遣される予定の日本人学生・研究者も加わり、名古屋での生活の感想やドイツでの研究の豊富などがそれぞれの学生から語られるなど、有意義なひとときを過ごしました。



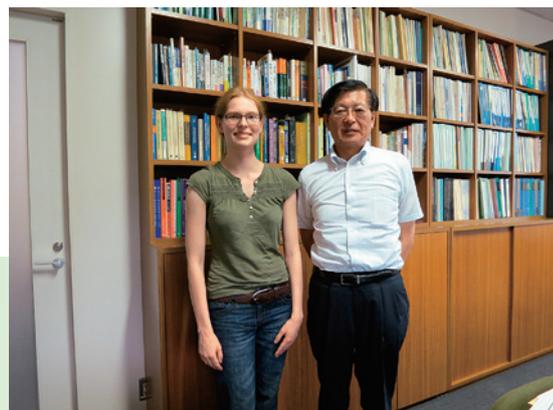
平成24年度 派遣

氏名	寺田玲季
期間	平成24年4月15日～平成24年7月1日
派遣先研究室	Prof. Dr. Gerhard Erker
研究課題	[3:1] Site-differentiated [4Fe-4S] Clusters: Synthesis and Characterization by NMR Spectroscopy
氏名	太田 俊
期間	平成24年7月23日～平成25年3月31日 (最終予定 平成25年12月)
派遣先研究室	Prof. Dr. Gerhard Erker
研究課題	Synthesis and Reactions of Thiolate-Bridged Iron(Cyano/Carbonyl)-Nickel Complexes Modeling the Active Site of [NiFe] Hydrogenase
氏名	秦 一博
期間	平成24年10月5日～平成25年3月31日 (最終予定 平成25年5月)
派遣先研究室	Prof. Dr. Armido Studer
研究課題	Development of Oxidative Coupling Reaction
氏名	Foo Siong Wan
期間	平成25年3月1日～平成25年3月31日 (最終予定 平成26年3月)
派遣先研究室	Prof. Dr. Bernhard Wünsch
研究課題	Catalytic Transformations of Inert Organic Compounds through Dehydration as a Key Step
氏名	宮田健吾
期間	平成25年3月20日～平成25年3月31日 (最終予定 平成26年3月)
派遣先研究室	Prof. Dr. Bernhard Wünsch
研究課題	Syntheses of Opioid Ligands Based on Catalytic Asymmetric Dehydrative Allylation
氏名	名倉和彦
期間	平成25年3月27日～平成25年3月31日 (最終予定 平成26年3月)
派遣先研究室	Prof. Dr. Martin Oestreich
研究課題	Development of Catalytic Reactions Involving Si-B Bond Activation as a Key Step



平成24年度 受入

氏名	Andreas Feldmann
期間	平成24年4月～7月、9月～12月
受入教員	山口茂弘教授
氏名	Christoph Rosorius
期間	平成24年4月～7月、9月～12月
受入教員	伊丹健一郎教授
氏名	Kristine Müther
期間	平成24年8月～平成24年11月
受入教員	巽和行教授
受入教員	Christian Radunsky
期間	平成24年9月～12月
受入教員	田中健太郎教授
氏名	Christoph Glotzbach
期間	平成24年10月～11月
受入教員	山口茂弘教授
氏名	Friederike Schröter
期間	平成25年1月～6月
受入教員	齊藤進准教授
氏名	Tobias Greulich
期間	平成25年1月～6月
受入教員	山口茂弘教授
氏名	Friederike Sibbel
期間	平成25年1月～6月
受入教員	伊丹健一郎教授
氏名	Michael Kurlemann
期間	平成25年1月～6月
受入教員	田中健太郎教授
氏名	Janine Fröhlich
期間	平成25年1月～6月
受入教員	齊藤進准教授



このプログラムの仕組み



日独共同セミナーのジョイントディナーにて、自分達で釣った魚を料理して食べさせてくれる「釣船茶屋」というお店へ行きました。店内には大きな釣り船をイメージしたお座敷付きの船が二槽あり、その周りを巨大な生け簀が取り囲むというアミューズメントパークの様なお店です。

参加したドイツ人と日本人は二人一組になり、一人が釣った魚をもう一人が網でキャッチするという方法で、それぞれが自分達の夕食を釣り上げるということになりました。釣った魚は、お造り、塩焼き、煮つけやムニエルなどの希望する調理方法でテーブルに運ばれてきます。中にはまだピクピク動く活け造りの魚におっかなびっくりのドイツ人教員や学生もいましたが、みんな大歓声をあげながら食事を楽しみました。

